

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和7年度年間評価）

基本目標4 つながり支え合い、尊厳を持って暮らせる地域社会の実現

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	年間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数	6件	2件	4件 (年間見込)	△	C
	R6 評価	7件	7件	◎	A
	目標値には未達。生活支援コーディネーターが中心となり、地域の居場所を広めるよう尽力している。				
見守りネットワーク協定締結事業者数（累積）	69件	67件	67件 (年間見込)	○	C
	R6 評価	67件	67件	○	C
	締結事業者数を維持できており、高齢者等の異変の早期発見や安否確認につながっている。				
地域ケア会議開催数（年間合計）	8回	4回	8回 (年間見込)	○	B
	R6 評価	4回	7回	◎	B
	開催数は良好で年度末には目標到達見込。全地域包括支援センターが年間1回以上の実施を予定している。当事者、地域住民、多職種の参加により、困難事例に対し、多角的な視点により課題解決に向けた協議を行っている。				

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上 100%未満の達成度合
- △ 50%以上 75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価

C

担当部署評価

生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数について、地域の居場所の周知や移動手段について検討していく。運営者への支援体制の強化など既存の居場所の支援を継続しながら、新規立上げの支援体制についても検討していく。今後、居場所参加者へのアンケートを実施し、その結果を活かし、事業に取り組む。

見守りネットワーク協定締結事業者数について、高齢者の見守り体制強化を継続しながら、新規事業者との締結につながるよう、引き続き周知に努める。

地域ケア会議について、各地域包括支援センターが困難事例の解決や地域課題の抽出、

解決に向け意欲的に取り組んでいる。地域ケア会議で抽出された地域課題に対し、具体的な解決策を実行していくための検討が引き続き必要である。

#### 評価委員会評価

生活支援コーディネーターによる地域の新規居場所把握件数について、地域の担い手の負担感が課題として挙がっている。居場所の把握について、頭打ちとなっている面もあるため、把握した居場所とのマッチングや、担い手の負担感の軽減についても検討していく必要がある。

見守りネットワーク協定締結事業者数について、実際に見守り等の支援を必要とする対象者は、プライバシーの観点から情報の共有を拒まれることもある。支援が必要な方を把握するネットワークづくりが必要である。